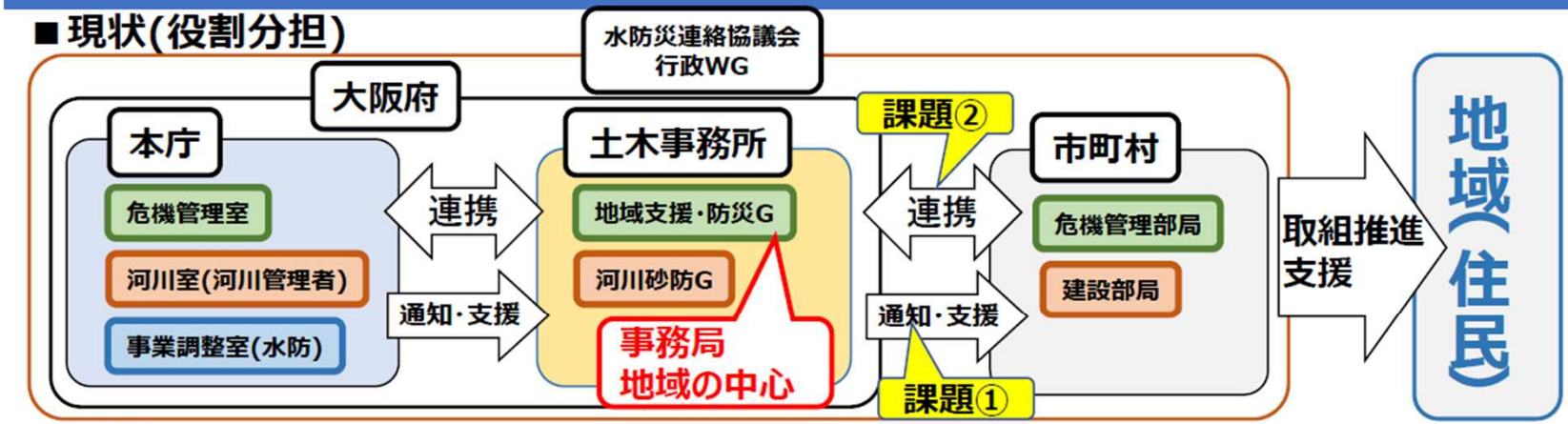
水防災連絡協議会行政WGについて

■ 現状(役割分担)



■ 課題

①行政WG等にて、**市町村や事務所の意見が無く**(意見交換無し)、本庁からの**情報提供が多い**

②**協議会本来の目的**、流域治水の取組の進捗管理、情報共有・課題解決等**が図られていない**

■ **対応方針**

①行政WG等の**資料は事前配布**し、会議開催の**趣旨を明確化**するとともに、**情報提供は厳選**

②**年間スケジュールを明確**にすることで、市町村取組の進捗管理し、取組推進に向け**支援を強化**

【スケジュール案】



水防災連絡協議会行政WGについて

■Ｒ８年度から変更していきたい事項

１．水防災行政ＷＧの動かし方について（事務局）

・年度末に次年度４月行政WGに向け、**R8年度の市町村の重点取組及び議題を募集し、**あわせて概ね5カ年進捗表(前年度)、流域治水Ｐ推進スケジュールを提出してもらう　※本庁議題から地域議題へシフト

・議題/情報提供資料は行政WG前の事前配布とし、議題に応答できる説明者にWG出席させる

・調査依頼の見直し（各事務所への情報集約）ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ調査（重点_要配慮関連）
事業調整室より、各市町村へ照会後、**事務所に回答し、集約後本庁へ回答**
例年　ファローアップ調査（3月中～4月中）

・年間の行政WG（4月、11月中間報告、年度末2月ふりかえり※次年度へ）
※担当者会議(Web)

２．要配慮者利用施設の避難訓練実施率向上に向けて（事務局）

・R7年度同様、引き続き、事務所が市町村を支援、一歩踏み込む

・**第1回行政WGで、事務局からR8年度の講習会の要否確認**

令和７年度　岸和田土木の取組み
（コミュニティタイムライン作成支援）

日時	地区名	内容
R7.11.1（土）9時～12時	岬町淡輪10、11区（洪水、土砂）	コミュニティタイムライン作成
R7.11.4（火）14時～16時	岬町深日向出南、兵庫地区（高潮）	学習会
R7.11.21（金）14時～16時		まち歩き
R7.12.10（水）14時～16時		コミュニティタイムライン作成
R8.2.28（土）14時～16時30分	岬町多奈川港地区（洪水、土砂災害）	学習会＋まち歩き
R8.3.15（日）14時～16時		コミュニティタイムライン作成

≪学習会≫



≪まち歩き≫





≪タイムライン作成≫





令和７年度　大阪府の取組み
（コミュニティタイムライン等の講習会）

コミュニティタイムラインの講習会	
日時：R7.8.25	場所：泉南府民センター
参加者：貝塚市2名、阪南市1名、泉佐野市2名、熊取町1名、岬町1名、岬町自主防災組織1名	
日時：R7.8.29	場所：大阪赤十字会館
参加者：泉南市1名、岬町1名、岬町自主防災組織1名	

要配慮者利用施設の講習会	
日時：R7.9.30	場所：能勢町役場
参加者：泉佐野市2名、泉南市1名、岸土1名	
日時：R7.10.30	場所：東大阪市立勤労市民センター
参加者：泉佐野市2名、岸土1名	

令和７年度　岸和田土木の取組み
（流域治水）

<table>
<tr><td colspan="3">大津川水系牛滝川《岸和田市と調整》（R7.6～7）</td></tr>
<tr><td>現　状</td><td colspan="2">・現在、岸和田市域では、牛滝川で河川改修事業を実施中。
・一方、全国的に昨今の気候変動、豪雨による災害が激甚化・頻発化。
・大阪府では降雨量が1.15倍に増加するという見解。</td></tr>
<tr><td>対応策</td><td colspan="2">・河川改修を進めるとともに、増加分は河川改修＋流域治水（河川への流出を減ら等の流域での対応）を検討し進めたい。</td></tr>
<tr><td>調整方法</td><td colspan="2">・流域治水として、治水活用の可能性がある市の施設管理者と調整。
・市危機管理課へ依頼し、関係する各部署の紹介を受け、個別に電話とメールで相談。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">公共施設</td><td>調整先</td><td>市営住宅⇒住宅政策課、公民館⇒生涯学習課、学校⇒学校管理課</td></tr>
<tr><td>調整内容</td><td>建て替え計画の有無⇒例１　建て替え時、駐車場地下に貯留施設設置の可能性
例２　既存の敷地で貯留可能な施設（公園、校庭等）
例3　住宅開発等の調整池の活用の可能性（市管理の調整池）</td></tr>
<tr><td>回　答</td><td>現在、建て替え計画のある公共施設はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">農林関係（ため池）</td><td>調整先</td><td></td></tr>
<tr><td>調整内容</td><td>治水活用の可能性　ため池の空き容量の転用</td></tr>
<tr><td>回　答</td><td>毎年、利水量不足の状況で協力できる可能性は低い
水利関係者の理解・承諾が必要（ハードルが高い）</td></tr>
</table>

令和７年度　岸和田土木の取組み
（流域治水）

利水ダムの活用	
永楽ダム （熊取町）	通年利水量を確保するのに苦慮している状況であり、台風などの事前放流は、熊取土地改良区の理解及び協力を得ることが非常に難しい。
	Q:一定の水位以下は放流しないなど実施要領にもりこむなどして協力できないか？（大阪府）
	A:改良区との事前協議にある程度の期間的猶予（時間）が必要（熊取町）
新滝の池 （泉佐野市）	通年利水量を確保するのに苦慮している状況であり、水利関係者の承諾が必要だが難しいと思われる。厳しいと思うが５月の総会で説明してみたらどうか？
	Q:一定の水位以下は放流しないなど実施要領にもりこむなどして協力できないか？（大阪府）
	A:総会で調整した上で、治水協定書の締結が必要である（泉佐野市）

泉佐野市用水運営協議会　水利委員への説明（新滝の池）
【日時：令和8年5月11日（月）14：20～14：50】

＜水利委員の意見＞
・事前放流により土砂が流れ、堰が埋まるという循環にならないかが心配。
樫井川の森の湯井堰、ニノ井堰の周辺に多くの土砂が堆積している。
事前放流の必要性は理解するが、特に下流域は、堆積土砂の対応もセットでしてもらえないと了承しがたい。

・下流域は、過去に水害があったこともあり、台風シーズン以外の7、8月も大雨が降ることもあるので、その場合の対応も協議したい。
期間を限定せず幅広く検討したほうがいいのでは？

深日向出南、兵庫地区

深日向出南・兵庫地区におけるコミュニティタイムライン（高潮）



時間経過	気象情報　河川情報		岬町の情報	住民の行動		地域の防災行動			
				自力で避難ができ	自力で避難ができない	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報）		情報共有会議	テレビ、ラジオ、インターネットで台風情報を確認		各班で電話番号を確認し、連絡網を作成する 近隣からの注意喚起	各班で電話番号を確認し、連絡網を作成する	避難経路等を確認する	大規模災害アプリをインストールする 浴槽に水を溜める 非常用持ち出し品、モバイルバッテリー等を準備する
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2 【注意】 災害形成基本計画 門扉等の閉鎖 避難所開設準備 町内巡回	・自宅台風対策実施 ・食料・ラジオ・ライト等点検	必要全員を事前	災害・被害から独居世帯、監視業務に連絡する 監視業務等に自主避難を促す 隣組長同士で連絡をとり、情報交換を行う	監視業務等の世帯に連絡する 家族や近親者と連絡をとる	監視業務等に避難の意思を確認する 監視業務等に避難方法を確認する	避難の準備を行う 障害児者に係らず事前に必要な資機材の準備を依頼する 垣根入荷等の配慮 備品の配布
	大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について								
	暴風警報、大雨警報、洪水警報 高潮注意報※	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3 【警戒】 災害形成基本計画 門扉等の閉鎖 避難所開設 高齢者等避難 町内行動開始、エリアメール等を使用し、情報発信	自主避難所開設	避難開始 家族や地域が連携した避難開始 避難完了	監視業務等に避難所の開設を連絡する 子どもたちに避難する場所を連絡する 避難していない人に連絡する 避難状況を役場に連絡する	監視業務等の安否確認を行う 監視業務等の避難の確認	監視業務等の避難を手助けする 自力での避難が難しい方への手助けを行う	消防団等に避難誘導の手助けを依頼する 避難所での避難者名簿を作成する 備蓄品の確認 防災行政無線の確認
	土砂災害警戒情報 高潮警報、高潮特別警報 記録的短時間大雨情報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4 【警戒に危険】 門扉等の閉鎖 避難確定 町内行動開始、エリアメール等を使用し、情報発信	近所に声を掛けながら避難 避難完了		避難していない人に連絡する 避難しない人には、家の中の安全な場所への避難を促す 避難状況を役場に連絡する	避難所での避難者の確認 逃げ遅れ等が発生していないかの確認する 避難していない人に連絡する 避難所に避難しない人には家の中の安全な場所への避難を促す		避難所での避難者名簿を作成する （負傷状況、持病等も記入する） ※救助が必要な場合は消防署に連絡する 防災行政無線の確認
	氾濫発生情報 大雨特別警報	氾濫発生情報	警戒レベル5 【災害発生】 避難、町対策の情報収集 緊急安全確保	逃げ遅れた人は、自宅内の災害の受けにくい場所へ避難し、安全確保する。		自宅避難者には、外出しないよう連絡する	避難者とのコミュニケーションを実施する	上層階への垂直避難等を行う	停電等に備える 防災行政無線の確認

※高齢警報に切り替わる可能性大

1ページ

連絡先　　岬町：　072-492-2001

避難に関する参考情報の入手先

岬消防署	072-492-0119	河川防災情報	
泉南警察署	072-471-1234		
与田病院	072-495-0801	洪水リスク表示図	
関西電力送配電（停電時）	0800-777-3081	土砂キキクル	
災害用伝言ダイヤル①②③	伝言の録音は　①		
	伝言の再生は　②		

深日向出南・兵庫地区におけるコミュニティタイムライン（高潮）

深日向出南、兵庫地区

時間経過	気象情報　河川情報		岬町の情報	住民の行動		地域の防災行動			
				自力で避難ができ	自力で避難ができない	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報）		情報共有会議	テレビ、ラジオ、インターネットで台風情報を確認		各班で電話番号を確認し、連絡網を作成する 近隣からの注意喚起	各班で電話番号を確認し、連絡網を作成する	避難経路等を確認する	大阪防災アプリをインストールする 浴槽に水を溜める 非常用持ち出し袋、モバイルバッテリー等を準備する
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2 【注意】 災害警戒本部設置 門扉等の閉鎖 避難所開設準備 町内巡回	・自宅台風対策実施 ・食料・ラジオ・ライト等点検	必要支援を要請	区長・班長から独居世帯、高齢者等に連絡する 高齢者等に自主避難を促す 隣組長同士で連絡をとり、情報交換を行う	高齢者等の世帯に連絡する 家族や近親者と連絡をとる	高齢者等に避難の意思を確認する 高齢者等に避難方法を確認する	避難の準備を行う 関係団体に率いず等避難に必要な資機材の提供を依頼する 担当人員等の配置 備品の配布
	暴風警報、大雨警報、洪水警報 高潮注意報※	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3 【警戒】 災害対策本部設置 門扉等の閉鎖 避難所開設 高齢者等避難 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	自主避難所開設	避難開始 家族や地域が連携した避難開始 避難完了	高齢者等に避難所の開設を連絡する 子どもたちに避難する場所を連絡する 避難していない人に連絡する 避難状況を役場に連絡する	高齢者等の安否確認を行う 高齢者等の避難の確認	高齢者等の避難を手助けする 自力での避難が難しい方への手助けを行う	消防団等に避難誘導の手助けを依頼する 避難所での避難者名簿を作成する 備蓄品の確認 防災行政無線の確認
	土砂災害警戒情報 高潮警報、高潮特別警報 記録的短時間大雨情報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4 【非常に危険】 門扉等の閉鎖 避難指示 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	近所に声を掛けながら避難 避難完了		避難していない人に連絡する 避難しない人には、家の中の安全な場所への避難を促す 避難状況を役場に連絡する	避難所での避難者の確認 逃げ遅れ等が発生していないかの確認する 避難していない人に連絡する 避難所に避難しない人には家の中の安全な場所への避難を促す		避難所での避難者名簿を作成する（負傷状況、持病等も記入する） ※救助が必要な場合は消防署に連絡する 防災行政無線の確認
	高潮氾濫発生情報 大雨特別警報	氾濫発生情報	警戒レベル5 【災害発生】 道路、河川等の情報収集 緊急安全確保	逃げ遅れた人は、自宅内の災害の受けにくい場所へ避難し、安全確認する。		自宅避難者には、外出しないよう連絡する	避難者とのコミュニケーションを実施する	上層階への垂直避難等を行う	停電等に備える 防災行政無線の確認

※高潮警報に切り替わる可能性大

1ページ

深日向出南、兵庫地区

連絡先　　岬町：　072-492-2001

岬消防署	072-492-0119
泉南警察署	072-471-1234
与田病院	072-495-0801
関西電力送配電（停電時）	0800-777-3081
災害用伝言ダイヤル①⑦①	伝言の録音は　①
	伝言の再生は　②

避難に関する参考情報の入手先

河川防災情報	
https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/qis.html	
洪水リスク表示図	
https://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂キキクル	
https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=class20s&area_code=2736600	

多奈川港地区

	気象情報 河川情報		大阪府 の動き	岬町の 動き	住民の行動	
▽	早期注意情報 （警報級の可能性等の情報）		水防準備・体制確認 情報収集・周知	情報共有会議	自動車の燃料を満タンにする。 家族で避難場所を決めておく。 要介護者の名簿を作成する。 避難する際に持っていくものを準備する。	非常時の連絡先を家族と共有する。 連絡体制の確認する。 テレビやラジオで情報収集する。
▽	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2 【注意】 警戒配備 （大雨注意報・洪水注意報で、警報級の可能性が中・高のとき）（強風以上の予報は休前日） 水位・雨量の毎時監視 情報収集	災害警戒本部設置 （高潮注意報のみ対策本部） 門扉等の閉鎖 避難所開設準備 町内巡回	危険箇所を確認する。 非常持ち出し品を確認する。 防災無線に注意を払う。 備蓄品を確認する。 ハザードマップで避難所を確認する。	避難に使用する道を確認する。 台風等の進路を確認する。 避難する場所を確認する。 自宅の補強をする。 テレビやラジオ等で今後の天気を確認する。
▽	大雨警報（浸水害） 大雨警報（土砂災害） 暴風警報 洪水警報 高潮注意報※	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3 【警戒】 第1非常配備 （大雨警報等を見込んだ体制） 市町体制の把握 水位・雨量の10分毎監視 （避難判断水位到達、氾濫注意情報等の連絡） 情報収集・点検パトロール	災害対策本部設置 門扉等の閉鎖 避難所開設 高齢者等避難 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	避難の準備をする。 高齢者等に避難をさせる。 高齢者、要支援者の避難を確認する。 家族の居場所を確認する。 避難のための道を確認する。	近所に声掛けを行う。 避難の意思表示をする。 非常時の持ち出し品を準備する。 避難を開始する。
▽	土砂災害 警戒情報 高潮警報、高潮特別警報 記録的短時間大雨情報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4 【非常に危険】 第2非常配備 氾濫危険水位到達・土砂災害・高潮等の連絡 情報収集・点検パトロール 防潮鉄扉の閉鎖連絡	門扉等の閉鎖 避難指示 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	近所に声掛けを行いながら避難する。 家族に避難の連絡をする。 河川や防災情報を確認する。	
▽	高潮氾濫発生情報 大雨特別警報	氾濫発生情報	警戒レベル5 【災害発生】	道路、河川等の情報収集 緊急安全確保	家族の安否を確認する。 逃げ遅れ等を確認する。 救助が必要な場合は消防へ連絡する。	逃げ遅れた場合は２階へ避難する。 安全な高い場所へ避難する。 危険な場所にいる場合は消防へ連絡する。

※高潮警報に切り替わる可能性大

■ 連絡先	
岬町	072-492-2001
岬消防署	072-492-0119
泉南警察署	072-471-1234
与田病院	072-495-0801
関西電力送配電（停電時）	0800-777-3081
災害用伝言ダイヤル①⑦①	伝言の録音は　①
	伝言の再生は　②

■ 避難に関する参考情報の入手先	QRコード
河川防災情報　URL https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html	
洪水リスク表示図　URL https://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂キキクル　URL https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=2736600	

多奈川港地区

	気象情報 河川情報		大阪府 の動き	岬町の 動き	住民の行動	
▽	早期注意情報 （警報級の可能性等の情報）		水防準備・体制確認 情報収集・周知	情報共有会議	自動車の燃料を満タンにする。 家族で避難場所を決めておく。 要介護者の名簿を作成する。 避難する際に持っていくものを準備する。	非常時の連絡先を家族と共有する。 連絡体制の確認する。 テレビやラジオで情報収集する。
▽	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2 【注意】			
▽	大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について		警戒配備 （大雨注意報・洪水注意報で、警報級の可能性が中・高のみ） （強風注意報は体制無し） 水位・雨量の毎時監視 情報収集	災害警戒本部設置 （高潮注意報のみ対策本部） 門扉等の閉鎖 避難所開設準備 町内巡回	危険箇所を確認する。 非常持ち出し品を確認する。 防災無線に注意を払う。 備蓄品を確認する。 ハザードマップで避難所を確認する。	避難に使用する道を確認する。 台風等の進路を確認する。 避難する場所を確認する。 自宅の補強をする。 テレビやラジオ等で今後の天気を確認する。
▽	大雨警報（浸水害） 大雨警報（土砂災害） 暴風警報 洪水警報 高潮注意報※	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3 【警戒】			
▽			第1非常配備 （大雨警報（浸水害）及び洪水警報（流域雨量指数の予測値）の発表） （氾濫警戒情報（避難判断水位到達） 高潮注意報の連絡） 市町体制の把握 水位・雨量の10分毎監視 （避難判断水位到達・ 高潮注意報等の連絡） 情報収集・点検パトロール	災害対策本部設置 門扉等の閉鎖 避難所開設 高齢者等避難 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	避難の準備をする。 高齢者等に避難をさせる。 高齢者、要支援者の避難を確認する。 家族の居場所を確認する。 避難のための道を確認する。	近所に声掛けを行う。 避難の意思表示をする。 非常時の持ち出し品を準備する。 避難を開始する。
▽	土砂災害 警戒情報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4 【非常に危険】			
▽	高潮警報、高潮特別警報 記録的短時間大雨情報		第2非常配備 氾濫危険水位到達・土砂災害・高潮等の連絡 情報収集・点検パトロール 防潮鉄扉の閉鎖連絡	門扉等の閉鎖 避難指示 防災行政無線、エリアメール等を活用し、情報発信	近所に声掛けを行いながら避難する。 家族に避難の連絡をする。 河川や防災情報を確認する。	
▽	高潮氾濫発生情報 大雨特別警報	氾濫発生情報	警戒レベル5 【災害発生】			
▽				道路、河川等の 情報収集 緊急安全確保	家族の安否を確認する。 逃げ遅れ等を確認する。 救助が必要な場合は消防へ連絡する。	逃げ遅れた場合は２階へ避難する。 安全な高い場所へ避難する。 危険な場所にいる場合は消防へ連絡する。

※高潮警報に切り替わる可能性大

多奈川港地区

■ 連絡先	
岬町	072-492-2001
岬消防署	072-492-0119
泉南警察署	072-471-1234
与田病院	072-495-0801
関西電力送配電（停電時）	0800-777-3081
災害用伝言ダイヤル①⑦①	伝言の録音は　①
	伝言の再生は　②

■ 避難に関する参考情報の入手先	QRコード
河川防災情報　URL https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html	
洪水リスク表示図　URL https://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂キキクル　URL https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=2736600	

水防法（洪水浸水想定区域）及び土砂法に基づく避難確保計画作成・避難訓練実施状況

市町村 別	調査結果（水防法＋土砂法）令和7年3月末時点				調査結果 令和7年3月末時点									
					水防法(洪水浸水想定区域)					土砂法(土砂災害警戒区域)				
					対象施設数※	避難確保計画		避難訓練（R6.4.1～R7.3.31）		対象施設数※	避難確保計画		避難訓練（R6.4.1～R7.3.31）	
	対象施設数※	計画作成済み	作成率	地域別作成率		計画作成済み	作成率	訓練実施済み	実施率		計画作成済み	作成率	訓練実施済み	実施率
全体（大阪府）	**12,192**	**11,897**	**97.6%**		**11,784**	**11,501**	**98%**	**2,859**	**24%**	**408**	**396**	**97%**	**222**	**54%**
大阪市	5,760	5,760	100.0%	100.0%	5,760	5,760	100%	558	10%					
能勢町	12	12	100.0%		1	1	100%	1	100%	11	11	100%	0	0%
豊能町	4	4	100.0%		0	0	-	0	-	4	4	100%	1	25%
池田市	100	100	100.0%	97.1%	80	80	100%	80	100%	20	20	100%	20	100%
箕面市	25	14	56.0%		5	4	80%	2	40%	20	10	50%	0	0%
豊中市	244	244	100.0%		240	240	100%	146	61%	4	4	100%	3	75%
茨木市	351	350	99.7%		347	346	100%	327	94%	4	4	100%	4	100%
高槻市	508	508	100.0%		473	473	100%	427	90%	35	35	100%	32	91%
島本町	39	39	100.0%	99.9%	30	30	100%	15	50%	9	9	100%	2	22%
吹田市	226	226	100.0%		225	225	100%	13	6%	1	1	100%	0	0%
摂津市	75	75	100.0%		75	75	100%	6	8%					
枚方市	409	379	92.7%		379	349	92%	22	6%	30	30	100%	1	3%
交野市	55	51	92.7%		33	29	88%	21	64%	22	22	100%	10	45%
寝屋川市	271	252	93.0%		270	251	93%	82	30%	1	1	100%	0	0%
守口市	232	232	100.0%	95.6%	232	232	100%	25	11%					
門真市	352	348	98.9%		352	348	99%	17	5%					
四條畷市	90	81	90.0%		85	77	91%	42	49%	5	4	80%	4	80%
大東市	105	104	99.0%		95	94	99%	68	72%	10	10	100%	9	90%
東大阪市	1,310	1,217	92.9%		1,205	1,112	92%	368	31%	105	105	100%	82	78%
八尾市	536	536	100.0%	95.2%	513	513	100%	257	50%	23	23	100%	8	35%
柏原市														100%
松原市														
羽曳野市														-
藤井寺市														
太子町														100%
河南町	2	1	50.0%	98.3%	2	1	50%	1	50%	0	0	-	0	-
千早赤阪村	0	0	－		0	0	-	0	-	0	0	-	0	-
富田林市	9	9	100.0%		1	1	100%	0	0%	8	8	100%	3	38%
大阪狭山市	9	9	100.0%		8	8	100%	5	63%	1	1	100%	1	100%
河内長野市	88	87	98.9%		51	50	98%	0	0%	37	37	100%	0	0%
堺市	443	427	96.4%		431	415	96%	33	8%	12	12	100%	2	17%
和泉市	84	78	92.9%		83	77	93%	37	45%	1	1	100%	0	0%
高石市	57	57	100.0%	93.9%	57	57	100%	1	2%					
泉大津市	185	157	84.9%		185	157	85%	10	5%					
忠岡町	53	53	100.0%		53	53	100%	28	53%					
岸和田市	105	60	57.1%		102	58	57%	45	44%	3	2	67%	2	67%
貝塚市	14	14	100.0%		11	11	100%	11	100%	3	3	100%	3	100%
熊取町	4	0	0.0%		4	0	0%	0	0%	0	0	-	0	-
泉佐野市	22	22	100.0%	70.2%	15	15	100%	7	47%	7	7	100%	5	71%
田尻町	9	9	100.0%		9	9	100%	4	44%					
泉南市	45	34	75.6%		43	32	74%	0	0%	2	2	100%	0	0%
阪南市	18	18	100.0%		14	14	100%	14	100%	4	4	100%	4	100%
岬町	8	1	12.5%		8	1	13%	1	13%	0	0	-	0	-

表を令和８年３月末に更新

※対象施設数は、令和7年3月末時点で市町村地域防災計画に定められた施設数

※避難訓練は、令和6年4月1日～令和7年3月31日までの一年間の実施状況を示す。

作成・報告の義務

- **対象：** 浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の社会福祉施設、学校、医療施設など。
- **報告：** 計画作成時、計画変更時、訓練実施後は、速やかに市町村へ報告・提出。

水防法（洪水浸水想定区域）及び土砂法に基づく避難確保計画作成・避難訓練実施状況

市町村 別	調査結果（水防法＋土砂法）令和8年３月末時点				調査結果 令和8年３月末時点									
					水防法(洪水浸水想定区域)					土砂法(土砂災害警戒区域)				
	対象施設数※	計画作成済み	作成率	地域別作成率	対象施設数※	避難確保計画		避難訓練		対象施設数※	避難確保計画		避難訓練	
						計画作成済み	作成率	訓練実施済み	実施率		計画作成済み	作成率	訓練実施済み	実施率
岸和田市	154	110	71.4%	69.8%	151	108	72%	76	50%	3	2	67%	2	67%
貝塚市	14	14	100.0%		14	11	79%	11	79%	3	3	100%	3	100%
熊取町	4	0	0.0%		4	0	0%	4	100%	0	0	-	0	-
泉佐野市	58	31	53.4%		51	24	47%	13	25%	7	7	100%	5	71%
田尻町	17	9	52.9%		17	9	53%	4	24%	0	0	-	0	-
泉南市	45	42	93.3%		43	40	93%	31	72%	2	2	100%	0	0%
阪南市	20	20	100.0%		16	16	100%	0	0%	4	4	100%	0	0%
岬町	16	3	18.8%		8	2	25%	2	25%	15	1	7%	0	0%

※対象施設数は、令和7年3月末時点で市町村地域防災計画に定められた施設数

※避難訓練は、令和7年4月1日～令和8年3月31日までの実施状況を示す。

作成・報告の義務

- **対象：** 浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の社会福祉施設、学校、医療施設など。
- **報告：** 計画作成時、計画変更時、訓練実施後は、速やかに市町村へ報告・提出。

令和８年度　岸和田土木の取組み

【重点取組】各市町と連携し、地域防災力の向上

⇒要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上

⇒コミュニティタイムライン作成支援

⇒流域治水対策

作業手順（4月のWG）
①R7進捗管理（課題を中心に取組状況の報告）
②課題確認
③コミュニティタイムライン等の様式共有（岸土がまとめて報告）
④R8計画確認（見える数値化）

※各市町５分以内を目安にご説明お願いします

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）岸和田市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
牛滝川100、春木川94
津田川100・松尾川90
（50㎜対応）
（令和6年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　769ha
農業用施設0箇所
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和6年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　0施設
（令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
未作成
（令和6年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
91施設/154施設
避難訓練
71施設/154施設
（令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標 （どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
取組み内容	令和７年度の具体的な目標 （どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
自主防災組織による地区防災計画	修斉地区(令和８年３月完成予定)	①修斉地区(３月完成予定) 12月中旬に訓練開催予定	①修斉地区(3月完成予定)	②修斉地区防災計画(令和８年10月頃に完成予定)
避難確保計画	市内の要配慮者利用施設の避難確保計画策定数及び訓練実施数を向上させるため、大阪府からの状況確認調査前に各担当部署から随時施設管理者へ作成依頼を行う。	①市内の要配慮者利用施設の避難確保計画策定数及び訓練実施数を向上させるため、３月末までに各担当部署に対し、随時施設管理者へ作成依頼を行う。（令和7年10末：計画策定済91/154、訓練実施済71/154）	①市内の要配慮者利用施設の避難確保計画策定数及び訓練実施数を向上させるため、各担当部署から施設管理者へ作成依頼を実施するよう12月に依頼を行う。（令和7年12末：計画策定済91/154、訓練実施済71/154）	②市内の要配慮者利用施設の避難確保計画策定数及び訓練実施数を向上させるため、12月に各担当部署から施設管理者へ避難確保計画に基づく訓練の実施及び報告依頼を行った。（令和7年度末（R8.3.31時点）：計画策定済110/154、訓練実施済78/154）
個別避難計画	作成対象者（都市中核地域40件、岸和田中部地域40件）を9月までに抽出し、同意確認書を送付する。作成に同意した者（自己作成・福祉専門職作成）へ11月以降個別に作成依頼を行う。（令和6年度：10件作成）	①作成対象者へ同意確認書を9月に送付。作成に同意した者（自己作成・福祉専門職作成）へ10月に作成依頼した。	①令和７年12月末：計画作成提出済３件（作成に同意した者（自己作成・福祉専門職作成）６名）	②令和８年３月末：計画作成済３件

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）貝塚市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
近木川、津田川100
見出川100
秬谷川
（令和6年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　397ha
農業用施設0箇所
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和6年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　1施設
（令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済
（令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和6年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
14施設/14施設
避難訓練
14施設/14施設
（令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
コミュニティタイムライン 令和６年度末 策定済４地区/１０１地区 ・旭住宅、馬場、三ケ山、コスタミラ	1校区（3町会）でコミュニティ・タイムライン作成を目指す 【津田北町、津田南町、堀新】	①コミュニティ・タイムラインの説明会を8月下旬に校区で実施済	①１１月下旬に地域の災害リスクについて、コミュニティ・タイムライン勉強会を開催済み	①２月下旬にコミュニティタイムラインの作成について、勉強会を開催済み
避難確保計画	全ての施設で計画及び訓練が実施されているため、継続を維持していく	①４月に訓練実施の依頼と実施した場合の報告を求めた。 1/１４	①訓練を実施した場合に報告を求めた。 7/１４	①未提出の施設に対し、訓練実施の報告を求めた １４/１４
個別避難計画	個別避難計画作成対象者の作成数を向上させる。	①６月末に個別避難計画の作成に同意した方に様式を送付済　１８４/１８４	①対象者から個別避難計画の提出を受けた。 １３５	①３月に個別避難計画未作成者に勧奨を行った。 昨年度より、個別避難計画の作成数が向上した。 ４３４

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）泉佐野市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
樫井川100、田尻川100
佐野川
（50㎜対応）
（令和6年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　556ha
農業用施設 0箇所
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和6年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　1施設
（令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　3河川/3河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和6年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
30施設/62施設
避難訓練
20施設/62施設
（令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
個別避難確保計画の提出率の向上	今年度中に本市笠松町の絆登録制度に登録されている方の全ての個別避難確保計画の作成を目指す。	② 避難支援者情報を誰が担うか等の問題が生じており、思うように進んでいない。 町会からの提出は0件	② 笠松町の対象者の内、5～6割を会長が掌握しているが、支援者情報の記入が難航しており、完成には至っていない。 町会からの提出は0件	③ 笠松町で進めていく中で、個別避難計画の書式に変更した方が良い箇所が出たため、協議した。4月頃変更予定。進捗は前回から横ばい。 町会からの提出は0件

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール泉南市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
男里川100%
新家川
樫井川100%
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　424ha
田んぼダム（六尾地区）
0.126 ha
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　2施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
33施設/45施設
避難訓練
30施設/45施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.9末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
市タイムラインの見直し	年度内を目標に見直しを行う	①令和8年1月に職員による災害対策本部訓練を実施して、見直しに反映予定	①令和8年1月に職員による災害対策本部訓練を実施して、見直しに反映予定	②見直しを実施中（8.5末予定）
コミュニティタイムラインの作成（1地区作成済/25組織）	新たに1地域（男里区）のタイムラインを作成	②新たに1地域のタイムライン作成を実施するも完成に至らず。	②R7.10末の結果を受け、当該地域自主防災組織と作成予定等について調整中 ●組織編成・任務区分の見直し中 ●再度訓練を予定（時期調整中）	②次年度に延期予定

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）阪南市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
男里川、茶屋川100%
山中川、蒐砥川
（令和6年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　209ha
農業用施設0箇所
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和6年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　0施設
（令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和6年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
18施設/18施設
避難訓練
18施設/18施設
（令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
個別避難計画策定	計画策定に向け関係部局との連携を強化する。個別避難計画策定に関する情報を共有するとともに、随時協議を行う	① 福祉部局と複数回の協議を行い、情報共有を図った。	① 福祉部局や泉佐野保健所と複数回の協議を行い、情報共有を図った。	① 関係部局等と協議を行い、個別避難計画を策定できた。
市管理の準用河川や水路の維持改修	市管理の準用河川や水路の維持改修工事の実施する。	① 準用河川の改修工事については、計画どおり着手した。また、水路の維持についても、随時、対応出来ている。	① 準用河川の改修工事については、計画どおり進捗している。また、水路の維持についても、随時、対応出来ている。	① 準用河川の改修工事については、計画どおり完了した。 また、水路の維持についても、随時対応できた。
ため池の治水活用	大阪府の「ため池防災・減災アクションプラン」に基づく耐震診断実施やハザードマップを作成する。	① 耐震診断については、大阪府で計画どおり実施。また、ため池ハザードマップ作成についても、計画どおり着手している。	① 耐震診断については、大阪府で計画どおり実施。また、ため池ハザードマップ作成についても、計画どおり進捗している。	① 耐震診断については、大阪府で計画どおり実施され、ため池ハザードマップについても、

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）熊取町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
見出川100%
雨山川
（令和6年度末時点）

農地･農業用施設の活用



農地　179ha
農業用施設0箇所
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和6年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　0箇所
土石流対策　0施設
（令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済
（令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　3河川/3河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和6年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
0施設/4施設
避難訓練
0施設/4施設
（令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.9末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
町タイムラインの修正	実際の災害での運用等を通じて修正箇所を抽出し、タイムラインの改定を行う。	③町タイムラインを使用した災害が未発生であったため、タイムラインの検証・修正は未実施。	③町タイムラインを使用した災害が未発生であったため、タイムラインの検証・修正は未実施。	③町タイムラインを使用した災害が未発生であったため、タイムラインの検証・修正は未実施。
コミュニティタイムラインの作成推進 （令和6年度末：自主防災マニュアル作成済20/39地区、内TL作成済16地区）	未作成である自主防災組織に対して自主防災訓練等で随時作成依頼をし、作成を行き詰まっている組織があれば、サポートを行う。	①未作成である自主防災組織に対して随時作成依頼を実施。作成中の自主防災組織に対しては、内容のアドバイスを行う等のサポートを実施。	①未作成である自主防災組織に対して随時作成依頼を実施。作成中の自主防災組織に対しては、内容のアドバイスを行う等のサポートを実施。（令和7年12末：自主防災マニュアル作成済22/39地区、内TL作成済18地区）	①未作成である自主防災組織に対して随時作成依頼を実施。作成中の自主防災組織に対しては、内容のアドバイスを行う等のサポートを実施。（令和8年3末：自主防災マニュアル作成済23/39地区、内TL作成済19地区）
ため池の治水活用	ため池の低水管理による治水活用が可能であるか、地元水利組合等と今年度末を目処に協議を進める。（対象ため池：八幡池）	①対象ため池の廃止に伴い、調節池機能が必要であるか関係水利組合、地元区からの意見をとりまとめている。	①対象ため池の廃止に伴い、調節池機能が必要であるか関係水利組合、地元区からの意見をとりまとめている。	①過年度、大雨時にため池の下流域で水路が溢れ、被害が発生したことから、ため池の調節池としての機能が必要ではとの意見であった。しかしながら、水路が溢れたメカニズムに不明な点が多かったため、今後も引き続き関係者からの詳細な聞き取り調査を実施し、諸条件の整理を行うこととした。

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）田尻町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 当面の治水目標に対応した河川の整備
  - 整備率
  - 田尻川100%
  - （令和6年度末時点）
- 農地・農業用施設の活用
  - 農地　899㎡
  - 農業用施設0箇所
  - （令和6年度末時点）
- 流出抑制対策の実施
  - 既存防災調節池等
  - 0施設
  - （令和6年度末時点）
- 山地の保水機能向上および土砂流木災害対策
  - 治山対策　0箇所
  - 土石流対策　0施設
  - （令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画における防災指針の作成
  - 未作成
  - （令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 避難のためのハザード情報の整備
  - 洪水浸水想定区域　1河川/1河川
  - 内水浸水想定区域作成済
  - （令和6年度末時点）
- 高齢者等避難の実効性の確保
  - 避難確保計画
  - 17施設/17施設
  - 避難訓練
  - 4施設/17施設
  - （令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を〇%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が〇%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が〇%に向上した
コミュニティタイムラインの作成	今年度中の策定に向け１地区を選定し、地元との調整を行う。	② 本庁には大きく分けて３地区あるが、地区ごとでハザードに変わりがなく、町域が狭く、コミュニティを分けてタイムラインを作成することが困難であったため。	② 現時点ではコミュニティタイムラインについては作成しない方針。	② 現時点ではコミュニティタイムラインについては作成しない方針。 総合防災マップのマイタイムライン作成ページを普及していく。

令和７年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）岬町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 当面の治水目標に対応した河川の整備
  - 整備率(%)
  - 大川、番川
  - 東川、西川
  - （令和6年度末時点）
- 農地・農業用施設の活用
  - 農地　159ha
  - 農業用施設0箇所
  - （令和6年度末時点）
- 流出抑制対策の実施
  - 既存防災調節池等
  - 0施設
  - （令和6年度末時点）
- 山地の保水機能向上および土砂流木災害対策
  - 治山対策　2箇所
  - 土石流対策　0施設
  - （令和6年度実施）

被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画における防災指針の作成
  - 未作成
  - （令和6年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 避難のためのハザード情報の整備
  - 洪水浸水想定区域　4河川/4河川
  - 雨水出水浸水想定区域
  - 未作成
  - （令和6年度末時点）
- 高齢者等避難の実効性の確保
  - 避難確保計画
  - 2施設/16施設
  - 避難訓練
  - 0施設/16施設
  - （令和6年末時点）

取組み内容	令和７年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
コミュニティタイムライン作成 ※令和６年度末時点（2/61）	２地区作成予定 今年度中にタイムライン完成する。未作成地区においても積極的に防災講習会等の実施を行い、防災についての学ぶ機会を創設する。	①作成予定の２地区と打合せを行った。	① 11月に１地区完成(淡輪10、11) 12月に１地区完成(深日向出南、兵庫) 令和8年3月中旬に作成予定の地区との打ち合わせを行った。(望海坂)	① 左記に記載の２地区に加え、３月に１地区で完成した。
コミュニティタイムライン修正	作成済み地区適宜修正を行う。 災害が発生した場合において、災害状況を整理し、関係機関をの連携を図りながら、適宜修正、追記を行う。	③作成地区において新たな防災気象情報の見直しに伴い修正を行う予定	③作成地区において新たな防災気象情報の見直しに伴い修正を行う予定(3月中旬以降に講習会開催予定)	③ 令和８年４月中旬に大阪管区気象台から地元向けの講習会を予定している。講習会後に修正作業に取りかかる。
個別避難計画	コミュニティタイムライン作成地区から対象者を選定する。	③現在のところ作成には至っていない	③新規での作成には至っていない	② 新規での作成に至っていない
避難確保計画	作成に関する個別支援に向けた通知文を送付する。 ※令和７年度送付済 避難確保計画に基づいた避難訓練を実施する。	②個別に通知文を送付した。 避難訓練は現在のところ未実施	②作成対象施設に対して通知文送付済み 個別避難計画作成(3/16) 避難訓練の実施(1/16)	②避難確保計画作成（３/１６） 避難訓練の実施（３/１６） 大阪府へR8講習会開催を依頼

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）岸和田市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
牛滝川100、春木川94
津田川100・松尾川90
（50㎜対応）
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　769ha
農業用施設0箇所
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　0施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



令和7年4月1日策定
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域作成済（R8.2）
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
110施設/154施設
避難訓練
78施設/154施設
（令和7年度末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標 （どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
取組み内容	令和８年度の具体的な目標 （どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
自主防災組織による地区防災計画	修斉地区防災計画 計画案は作成されているが、地域で４月末頃に開催される全体会議にて提案し、5月中旬に市に提出。防災会議（R8.9予定）で報告し10月頃に市のホームページに掲載する。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）貝塚市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率（%）
近木川、津田川100
見出川100
秬谷川
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　397ha
農業用施設0箇所
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　1施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
14施設/14施設
避難訓練
14施設/14施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を〇%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	①施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	①上半期時点での訓練実施率が〇%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が〇%に向上した
【コミュニティタイムライン】 災害時の行動を整理したコミュニティ・タイムラインの作成を地域とともに作成を進めていく 令和７年３月末 策定済４地区/１０１地区 ・旭住宅、馬場、三ケ山、コスタミラ	６月：津田北、津田南、堀新の３町会においてタイムラインを完成させる			
【避難確保計画】水防法や土砂災害から安全に避難させるため、高齢者施設等に避難確保計画に基づき訓練の実施を促していく	４月：訓練実施の依頼と実施した場合の報告を求める。 ３月：訓練報告が提出されていない事業所に確認を行い、報告書の提出			
【個別避難計画】介護が必要な方や障害のあるなど、災害時に避難することが困難な方の個別避難計画の作成を進めていく	６月：個別避難計画の作成に同意した方に様式送付 10月：提出のあった個別避難計画を町会・自治会等に配布 1月以降：個別避難計画未作成の方に勧奨を行う。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）泉佐野市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
樫井川100、田尻川100
佐野川
（50㎜対応）
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　556ha
農業用施設 0箇所
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　1施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　3河川/3河川
雨水出水浸水想定区域作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
31施設/58施設
避難訓練
18施設/58施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
【要配慮者】 個別避難確保計画の提出率の向上 【策定数】対象地区54地区 現在モデル地区を取り組んでいるおり、完了地区数は0。	昨年度本市笠松町の絆登録制度に登録されている方の全ての個別避難確保計画の作成を始め、今年度完成を目指す。 また、その地区をモデルに別地区の選定および計画の作成を進める。			
避難確保計画の提出率、避難訓練の向上 【件数】洪水　40施設中21件、高潮　44施設中21件、津波　2施設中0件 【避難訓練】洪水 12件、高潮 9件 津波0件	被害想定区域内にある施設で、未提出の施設に対して、策定の依頼を行う。避難訓練に関しても周知ができていないことが見受けられるため、直接電話で説明を行う。			
コミュニティタイムラインの取り組み 策定済み19地区/対象地区23地区	土砂災害の危険性のある4地区について完成を目指す。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）泉南市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
男里川100%
樫井川100%
新家川
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　424ha
田んぼダム（六尾地区）
0.126 ha
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　2施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
42施設/45施設
避難訓練
31施設/45施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R7.9末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R7.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
要配慮者利用施設における避難訓練の質的向上等を目的として、訓練を支援	・～９: 対象施設の定義確認 ・～12月：当該施設の計画案作成 ・～3月：当該施設の訓練を企画			
間作成地域（R7未作成地域含む） 地域コミュニティタイムラインの作成（R7未現在策定済み1/25）	・～9月対象地域と自主防災組織の関係整理 ・～12月：土砂災害可能性を有する地区のタイムライン案作成 ・～３月: 当該地区の訓練を企画			
立地適正化計画作成	８年度中の作成			
災害対策本部訓練	・７月：実施大綱の作成 ・１０月：実施計画の作成 画作成支援 ・１月：ブラインド形式一部実動訓練実施			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）阪南市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
男里川、茶屋川100%
山中川、菟砥川
（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　209ha
農業用施設0箇所
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　1箇所
土石流対策　0施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　4河川/4河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
20施設/20施設
避難訓練
0施設/20施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
【避難確保計画】 水防法等にかかる要配慮者施設の避難確保計画作成率および避難訓練実施率100%を継続	水防法等にかかる市内の要配慮者利用施設の避難確保計画作成率および訓練実施率100%達成に向け、随時施設管理者に依頼を行う。			
【流域治水】 市管理の準用河川や水路の維持改修	市管理の準用河川や水路の維持改修工事を実施する。			
【流域治水】 ため池の治水活用	大阪府の「ため池防災・減災アクションプラン」に基づく耐震診断実施やハザードマップを実施する。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）熊取町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率(%)
見出川100%
雨山川
（令和7年度末時点）

農地･農業用施設の活用



農地　179ha
農業用施設0箇所
（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　0箇所
土石流対策　0施設
（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済
（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　3河川/3河川
雨水出水浸水想定区域
作成済
（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
0施設/4施設
避難訓練
0施設/4施設
（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.9末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を○%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が○%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が○%に向上した
【タイムライン】 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の実施（令和8年3末：計画作成0/4施設、避難訓練0/4施設）（令和8年度対象：4施設）	要配慮者利用施設の避難確保計画の策定率100%を目指すため、随時働きかけを実施する。併せて、避難訓練の実施についても働きかけを行う。			
【コミュニティタイムライン】 コミュニティタイムラインの作成推進（令和8年3末：自主防災マニュアル作成済23/39地区、内TL作成済19地区）（令和8年度対象地区：16地区）	随時：自主防災マニュアルが未作成である自主防災組織に対して自主防災訓練等で随時作成依頼をし、作成を行き詰まっている組織があれば、サポートを行う。			
【流域治水】 ため池の治水活用 灌漑用ため池の廃止（売却）に伴い、ため池敷の一部を流出抑制機能をもたせた調節池として活用する。（対象ため池１箇所）	令和９年度のため池廃止（売却）に向け、必要となる調節池の諸条件を整理する。 ９月：地元区、水利組合からの意見を取りまとめる。 ３月：必要な調節池の容量を決定する。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）田尻町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率

田尻川100%

（令和7年度末時点）

農地・農業用施設の活用



農地　899㎡
農業用施設0箇所

（令和7年度末時点）

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設

（令和7年度末時点）

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策　0箇所
土石流対策　0施設

（令和7年度実施）

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



未作成

（令和7年度末時点）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域　1河川/1河川

内水浸水想定区域
作成済

（令和7年度末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
17施設/17施設

避難訓練
4施設/17施設

（令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
例）要配慮者利用施設の 避難訓練実施率の向上	市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を〇%に向上させるため、７月までに講習会を実施するとともに、随時施設管理者に依頼を行う。	① 施設管理者向けの講習会を７月に実施。講習会で管理者に訓練を実施するよう依頼した。	① 上半期時点での訓練実施率が〇%に向上。 また、上半期に訓練を実施していない施設に対して電話での依頼を実施	① 訓練実施率が〇%に向上した
立地適正化計画における防災指針の作成 （コミュニティタイムライン策定0/3）	立地適正化計画の策定に併せ、防災指針を策定する。10月までに担当課と打ち合わせを行い素案を作成する。			

令和８年度　泉南地域水防災連絡協議会　流域治水プロジェクト推進スケジュール（案）岬町

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備	農地･農業用施設の活用	流出抑制対策の実施	山地の保水機能向上および土砂流木災害対策	立地適正化計画における防災指針の作成	避難のためのハザード情報の整備	高齢者等避難の実効性の確保
						
整備率(%) 大川、番川 東川、西川 （令和7年度末時点）	農地　159ha 農業用施設0箇所 （令和7年度末時点）	既存防災調節池等 0施設 （令和7年度末時点）	治山対策　2箇所 土石流対策　0施設 （令和7年度実施）	未作成 （令和7年度末時点）	洪水浸水想定区域　4河川/4河川 雨水出水浸水想定区域 未作成 （令和7年度末時点）	避難確保計画 3施設/16施設 避難訓練 2施設/16施設 （令和7年末時点）

取組み内容	令和８年度の具体的な目標（どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など）	進捗状況（R8.10末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R8.12末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況（R9.3末） ①計画通り ②計画通りでない ③その他
【コミュニティタイムライン】 コミュニティタイムラインの更新。防災気象情報の見直しに伴い更新作業を実施　9/61	６月：対象地区と実施スケジュール協議 ７月～９月：対象地区と見直し内容等を協議 １０月：更新内容を周知			
【コミュニティタイムライン】 防災気象情報の見直しに合わせて地域の防災リーダー向け講習を実施　9/61	４月：講習会実施 ６月：講習会実施			
【避難確保計画】 要配慮者利用施設での避難訓練の実施率向上に向けた訓練報告書等を年度当初に送付し、訓練の実施を促す。	４月：訓練報告書を送付 ７月～１１月：未報告施設への説明を行う。 １２月：訓練未実施施設への説明を行い、課題を確認			

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：岸和田市

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
		避難確保計画については、他の部局が該当施設を抽出し案内を発送しております。対象施設も多く、職員の人員不足が原因と考える。	大阪府岸和田土木事務所がら「研修会等を実施し、施設管理者と調整しながら進めていく」と案を頂きましたが、他の部局の取組み対応になるため、このプロジェクトでの令和8年度取組み事項から外しました。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、岸和田市と連携して進めていきたい。
		個別避難計画については、名簿作成するだけでもかなりの労力と時間を要するため、案内を発送後、同意を得た人に作成依頼を再度案内する。平時の業務がある中、職員の人員不足が原因と考える。	名簿管理を行うためのシステムを導入予定。（R9度中に稼働予定） システムを導入しても職員の人員不足に変わりはなく、他の部局の取組み対応になるため、このプロジェクトでの令和8年度取組み事項から外しました。	
		コミュニティタイムラインは、どこの地区にも存在していない。	令和8年度に自主防災組織による地区防災計画ができれば、市のホームページに掲載し、他の地区でコミュニティタイムラインに繋がればと思います。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、岸和田市と連携して進めていきたい。また、要請があれば昨年度の岬町と同様に岸和田土木も協力する。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：貝塚市

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
		コミュニティタイムラインについて市役所・業者・地元との調整不足	行き違いが無いよう連絡を密にする	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、貝塚市と連携して進めていきたい。また、要請があれば昨年度の岬町と同様に岸和田土木も協力する。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：泉佐野市

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
		土砂災害の危険性がある地区のコミュニティタイムラインを作成する必要があるが、知識が乏しく本市のみで作成するのが困難。	大阪府や国から専門職員等を派遣してもらい、 ワークショップ等を開催してほしい。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、泉佐野市と連携して進めていきたい。また、要請があれば昨年度の岬町と同様に岸和田土木も協力する。
		避難確保計画の内容がBCPと重複していることもあり、BCPを計画・訓練すれば避難確保計画の内容も対応できるので避難確保計画の作成・訓練の必要性について疑問があるとの意見があった。	大阪府や国主導で、避難確保計画の作成方法の指導や 必要性を伝える説明会等を開催してほしい。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、泉佐野市と連携して進めていきたい。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：泉南市

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
1	男里区	●タイムラインや訓練の質の追求 ○6月自主防災組織への防災講話を実施 ○9月区民への防災講話を実施 ○11月コミュニティタイムライン作成のための図上訓練を実施 ※別添「図上訓練実施計画」 ○年間5回図上訓練及びタイムライン作成のための調整を実施 上記事項を実施するも、組織編成・任務区分等に問題があり、見直し後タイムラインを完成させることとした。	●区としてタイムライン作成のための問題解決に取り組んでおり、区を支援して作成してもらい、訓練についても支援して実施する	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、泉南市と連携して進めていきたい。また、要請があれば昨年度の岬町と同様に岸和田土木も協力する。また、区内の仕切りや役割分担がまとまっていない状況であれば昨年度、岬町で行ったようにマイタイムライン＋自治会として行う内容をまとめたタイムラインで良いと考える。
2	共通	●自主防災組織の積極性と能力 ○各地域の年度事業、特に防災訓練は定型化しており、コミュニティタイムライン作成などの新たな取り組みに積極的にならない。 ※防災訓練等の事業が「地域のお祭り」になっており、あり方を変えられない。 ※自主防災組織の運営に市職員の人的支援が不可欠 ※個人情報に配慮し、地域の人と積極的な関わりをもとうとしない。 ●自主防災組織等が存在しない地域が存在		
3	要配慮者利用施設等	●要配慮者が利用する施設の前提等 ○歯科など要配慮者も使用はするが、歯科医と助手と一般の患者のみが利用するような医院を含んでいる。 ●訓練の必要性や実施についての報告をしていない（知らない）と思われる施設が存在	●市職員の理解促進と市職員による積極的な実態把握と施設の理解促進	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、泉南市と連携して進めていきたい。また、要配慮者施設の対象施設の前提等で他市町への確認事項があれば岸和田土木から照会するので、確認事項のとりまとめをお願いする。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：阪南市

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
1	全域	コミュニティタイムラインの策定地区を増やしていきたいと考えているが、地域の災害認識の差や人材の確保に苦労している。	事例の共有や防災講演会を実施しコミュニティタイムラインの必要性を理解していただく。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、阪南市と連携して進めていきたい。また、要請があれば昨年度の岬町と同様に岸和田土木も協力する。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：熊取町

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
		避難確保計画の作成について、本町は丘陵地に位置しており、掘割り河川で過去に溢水被害等も経験しておらず、認識が得にくかったところであるが、昨年度も対象４施設に対し説明を実施した。	令和8年度においても、既に対象施設に対し面談し、避難確保計画について説明のうえ策定について依頼したところである。今後も、引き続き、認識を深め策定に努める。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、熊取町と連携して進めていきたい。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：田尻町

整理番号	地区名	課題	対応（案）	備考
		【コミュニティタイムラインの作成】 本町は町域が狭いことから、地区ごとのハザードに差異が生じないため、コミュニティごとにタイムラインを作成することが困難。	全戸配布している総合防災マップに記載のあるマイタイムラインを普及していく予定。出水期に広報紙への掲載を予定。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、田尻町と連携して進めていきたい。
		【避難確保計画の避難訓練】 施設も担当課もマンパワーが足りていない。	再度、担当課(福祉課や教育委員果)と協議し調整しながら進めていく。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、田尻町と連携して進めていきたい。

流域治水プロジェクト推進スケジュールの課題

市町名：岬町

整理番号	地区名	課題を具体的に記載ください。 （その他、コミュニティタイムラインの作成など講習会の要望や意見等があれば記載ください	課題に対する対応（案）を具体的に記載ください	備考
		要配慮者利用施設における避難確保計画の作成について 平時から顔の見える関係の構築ができておらず、計画作成に対して、前向きではない。	福祉部局と連携した講習会を開催する。また、地域の交流会等での積極的な意見交換を行う。	（岸和田土木） 府開催の講習会に市職員以外に施設管理者、自治会長等にも参加いただき、岬町と連携して進めていきたい。

令和8年度_講習会開催要望について

講習会	コミュニティタイムライン	要配慮者利用施設の実効性の確保
岸和田市	○	×
貝塚市	×	○
泉佐野市	○	○
泉南市	○	×
阪南市	○	×
熊取町	×	○
田尻町	×	×
岬町	×	○

※希望される講習会に〇を記載ください